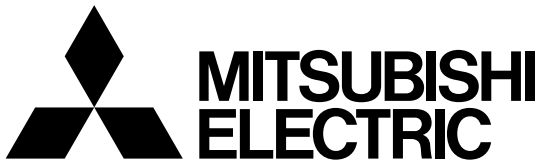




2205876H96201



ハンドドライヤー**ジェットタオル**®
形名

JT-FB116JH2-W (簡易ヒーター付)

交流100V専用

JT-FB216JSH2-W (簡易ヒーター付)

単相200V専用



形名表示位置
電源電圧表示位置

据付工事説明書

販売店・工事店様用

■この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。

据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

●据付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。

●電気工事は第二種電気工事士が行ってください。


別冊の「取扱説明書」はお客様用です。
必ずお渡しください。




もくじ

安全のために必ず守ること	2
据付け前のお願い	2
各部のなまえと外形寸法図	3
別売品	3
同梱部品	3
据付要領図	3
据付条件	3
据付方法	4~7
別売品 自動ドア連動回路ボックスの 信号線の接続のしかた	8
据付工事後の確認	8
試運転	8
お客様への説明	8

安全のために必ず守ること

• 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告		誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には据付けない 火災の原因になります 	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> 配線工事は電気工事士の資格のある方が、電気設備技術基準や内線規程に従って確実にを行う 誤った配線工事は火災・感電のおそれがあります
	<ul style="list-style-type: none"> 塩害地域、腐食性ガス・中性ガス・還元性ガスが存在する場所には据付けない 火災・感電の原因になります 		<ul style="list-style-type: none"> 据付工事は、販売店または専門の工事店が実施する。 間違った工事は、事故の原因になります。 据付工事部品は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する。 当社指定部品を使用しないと、事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、薬品をかけたりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります (JT-FB116JH2-W) 		<ul style="list-style-type: none"> お客様ご自身での工事は、事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります (JT-FB116JH2-W) 		<ul style="list-style-type: none"> 交流100Vで使用する (JT-FB116JH2-W) 単相200Vで使用する (JT-FB216JSH2-W) 間違った電源を使用すると、火災・感電の原因になります
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> 本説明書に記載されていない分解や改造はしない 火災・感電・けがの原因になります 		<ul style="list-style-type: none"> コンセントで使用する場合、15A以上で単独とする (JT-FB116JH2-W) 電源が専用配線の場合は単独配線とする 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります
 風呂・シャワー室での使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> 浴室など湿気の多い場所や、結露する場所、直接水のかかる場所には据付けない 感電の原因になります 		<ul style="list-style-type: none"> 漏電しゃ断器を必ず取付ける 感電するおそれがあります

 注意		誤った取り扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 製品(電源ケーブル)に通電した状態で据付工事をしない 感電するおそれがあります 	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> 本体の据付工事は、十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがをするおそれがあります 据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがをするおそれがあります

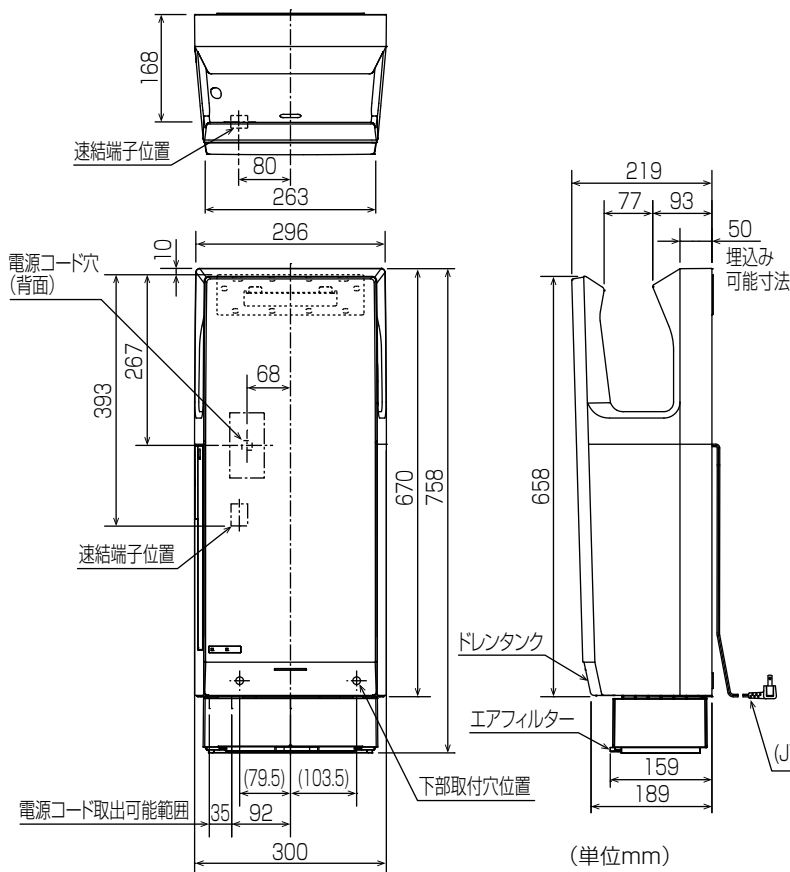
据付け前のお願い

■ 次のような場所に本体を据付けないでください。

(故障の原因になります)

- 屋外
- 0℃未満になる場所
- ほこりの多い場所
- 40℃以上になる場所
- 結露する場所
- 塩害地域
- 乗りもの(船舶・航空機を含む)
- 直接水がかかる場所
- 腐食性ガス・中性ガス・還元性ガスが存在する場所
- 食材・食器等の近く
- 厨房
(水滴がかかるおそれがあります)
- 日光・強い光が当たる場所
(センサーが誤作動するおそれがあります)
- 消毒槽のある部屋、プール、浴室

各部のなまえと外形寸法図



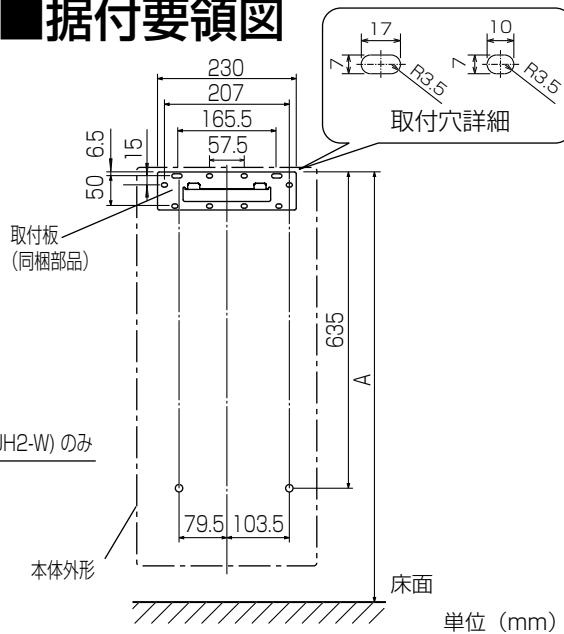
別売品 (接続工事: ジェットタオル 本体を固定する前)

自動ドア連動回路ボックス (JP-100RD2) … 1台
 ※詳しくは、JP-100RD2の据付工事説明書をお読みください。

同梱部品

取付ねじ (5×30タッピング1種) … 6本
 取付板 …… 1個 固定ねじ… 1本
 コードクリップ… 1個

据付要領図



製品下部の空間	A	
	男性	女性
何も無い場合	875	855

据付条件

据付位置について

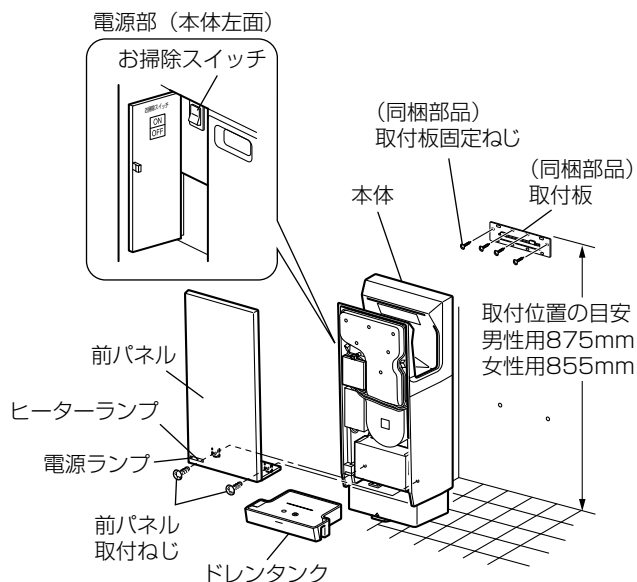
- 使用しやすいよう右図の位置に据付けてください。据付け高さが低いと床面掃除の際、水がかかりやすくなります。本体内部に水を吸い込んだ場合には、故障の原因や吸音材が吸湿して菌が繁殖する場合があります。
- 本体下部に床および障害物等がある場合は空きスペースを最低100mm以上あけてください。

お願い • 下方100mm以上あげないと、ゴミや水を吸い込んで故障するおそれがあります。

- 本体左面には電源操作部とドレン水路がありますので、左面と壁との間は必ず150mm以上あけてください。(左面は200mm以上あけると、ドレン水路をより清掃しやすくなります)
- 本体右側面は、風の吹き返しを抑えると共に、製品側面の定格ラベルが読めるように150mm以上空けてください。
- 本体側面の近くに鏡および壁等のないようしてください。手乾燥時、水滴が飛ぶことがあります。
- 人がぶつかり易い場所やドア等が当たる場所は避けてください。
- 製品を据付ける壁は、段差のない平らな場所を選び、据付けてください。コンクリート壁以外の壁は補強を行った上で据付けてください。
- 本体取付ねじを締め付ける際、プラスドライバーの軸長(ビット)は150mm以上のものを使用してください。
- コンクリート壁に据付ける場合は、市販の金属製ねじプラグ(カールプラグ等)を使用して据付けてください。
- 水滴が飛ぶおそれがありますので、食材、食器等の近くには据付けないでください。

建物の壁面や燃えやすい物(可燃物)からの離隔距離は右表に掲げる数値以上の距離を保ってください。

※ 左面は200mm以上あけると、ドレン水路をより清掃しやすくなります。



場所	離隔距離
上方	開放
左方	150mm
右方	150mm
前方	開放
後方	—
下方	100mm

単位(mm)

据付方法 コンセントを使う場合と専用配線工事をする場合とがあります。

JT-FB116JH2-W	JT-FB216JSH2-W
交流100Vを使用:コンセントまたは専用線で配線	単相200Vを使用:専用線で配線

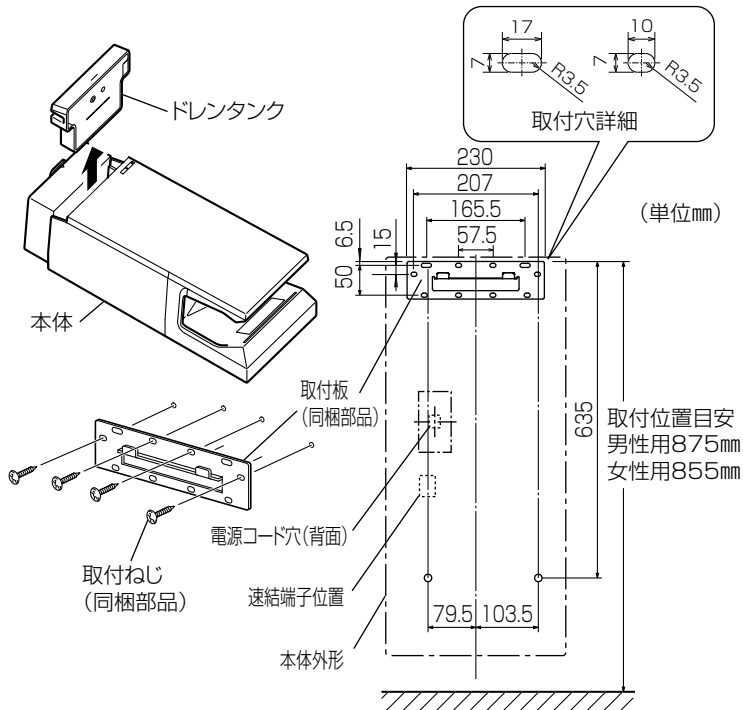
コンセントを使う場合 (JT-FB116JH2-W)

お願い 壁面に穴を空けて電源コードを引き出す場合、穴から室外の空気を吸いこんでいないか確認してください。吸気している場合、製品内部が結露して故障することがありますので、穴をパテやアルミテープなどでふさいでください。

1. ドレンタンクを取りはずす。
2. 取付板を同梱の取付ねじ4本で壁に固定する。

- 右図に示す取付ねじの位置は推奨です。
- コンクリート壁に据付ける場合は、市販の金属製ねじプラグ（カールプラグ等）を使用して据付けてください。
- コンクリート壁以外の壁は補強を行った上で据付けてください。

お願い ● 本体下部に床および障害物等がある場合は、空きスペースを最低100mm以上空けてください。
ゴミや水などを吸い込むと、本体が故障するおそれがあります。



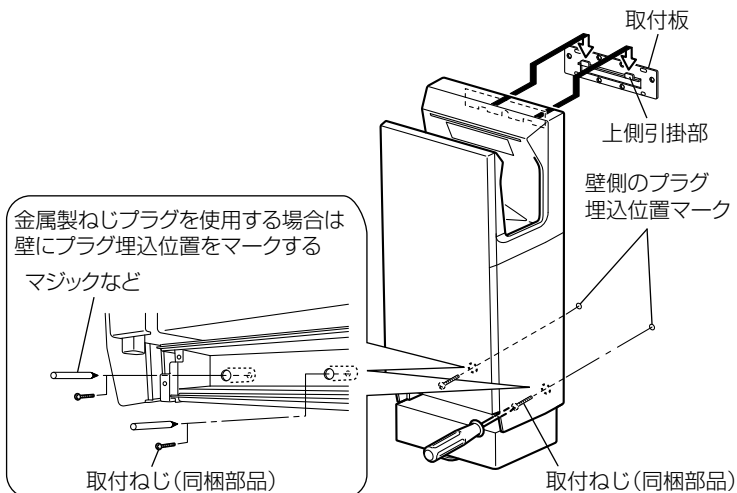
2 本体を壁に固定する。

取付板の引掛部（2か所）に本体背面を引掛け、本体を壁側に軽く押しつけながら付属の取付ねじ（2本）で固定する。

- コンクリート壁に据付ける場合は、下記の手順で市販の金属製ねじプラグ（カールプラグ等）を使用して据付けてください。

- ① 取付板に本体を仮置きする
- ② 取付ねじの穴からペンなどで壁に穴位置をマーキングする
- ③ 本体を取りはずし、マーキングした位置に市販の金属製ねじプラグ（カールプラグ等）を埋め込む

- 付属の取付ねじを締め付ける際、プラスドライバーの軸長（ビット）は150mm以上のものを使用してください。
- コンクリート壁以外の壁への固定は補強を行った上で据付けてください。



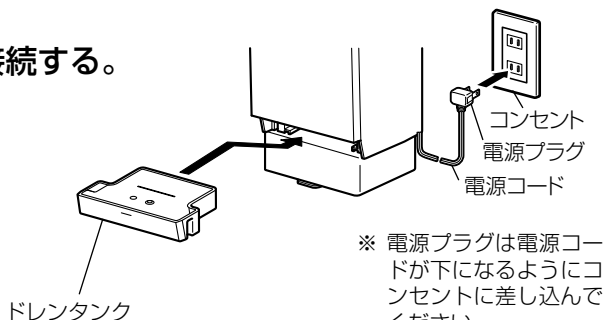
お願い ● 市販のφ4ねじを使用する場合は、ワッシャー（外径φ10以下）でガタつきを防止してください。

1. ドレンタンクを元通り取付ける。
2. 電源プラグを専用コンセント（交流100V）に接続する。

警告

指示に従う

● 交流100Vで使用する
(間違った電源を使用すると
火災・感電の原因になります)



専用配線工事の場合

■ 電源ケーブルは単線Φ2またはΦ1.6のVVFケーブルを使用してください。

警告

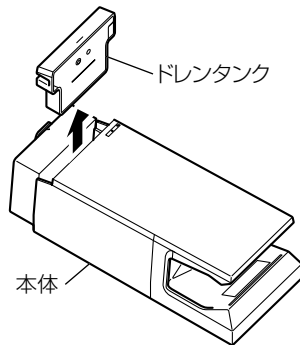
- 交流100Vで使用する (JT-FB116JH2-W)
 - 単相200Vで使用する (JT-FB216JSH2-W)
- 間違った電源を使用すると火災・感電の原因になります

注意

- 製品 (電源ケーブル) に通電した状態で据付工事をしない
- 感電するおそれがあります

- お願い**
- コンクリート壁以外の壁は補強を行ってください。
 - コンクリート壁に据付ける場合は、市販の金属製ねじプラグ (カールプラグ等) を壁に埋め込んでください。
 - 本体を据付ける壁は、段差のない平らな場所を選び、据付けてください。壁等が平らでない場合、本体と壁のすき間が大きくなります。

ドレンタンクを
取りはずす。

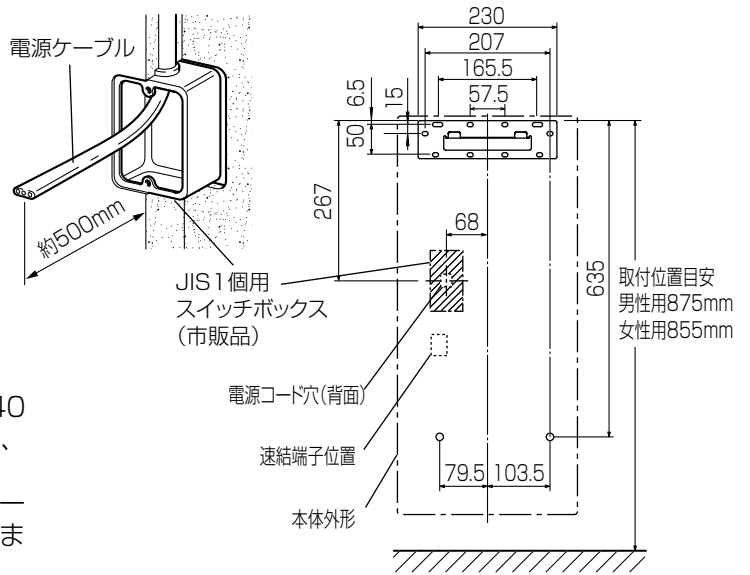


配線工事をする。

据付位置に市販品スイッチボックス (JIS C 8340 1個用スイッチボックスカバーなし) を埋め込み、電源ケーブルを配線する。

- スwitchボックスを使用しないと、電源ケーブルが本体を押し出してうまく据付けられません。

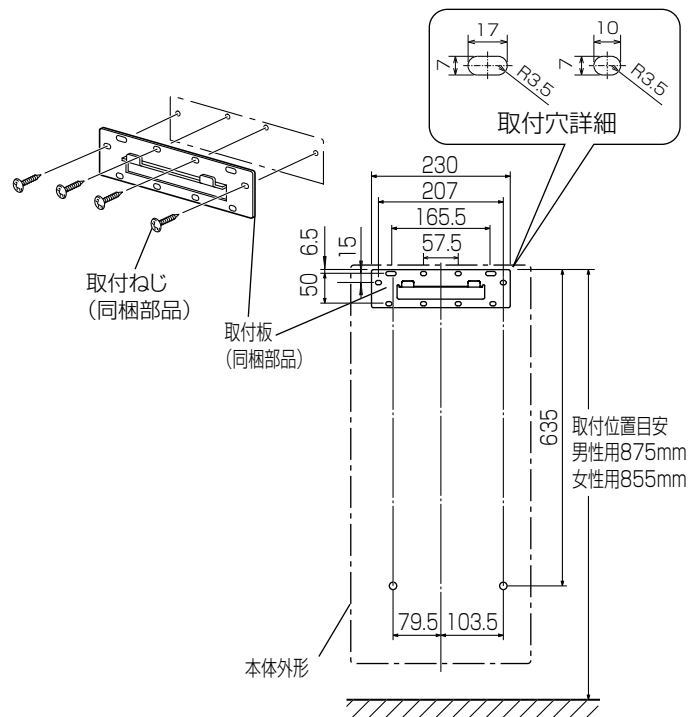
- お願い**
- 空調管理され密閉された室内で、室内が負圧の場合、スイッチボックスの金属配管や専用配線を引き出すために空けた壁面の穴などから吸気が行われ、製品内 (基板) が結露して故障することがありますので、金属配管や壁面の穴をパテやアルミテープなどでふさいでください。



取付板を同梱の取付ねじ4本で壁に固定する。

- 右図に示す取付ねじの位置は推奨です。
- コンクリート壁に据付ける場合は、市販の金属製ねじプラグ (カールプラグ等) を使用して据付けてください。
- コンクリート壁以外の壁は補強を行った上で据付けてください。

- お願い**
- 本体下部は空きスペースを最低100mm以上空けてください。ゴミや水などを吸い込むと、本体が故障するおそれがあります。

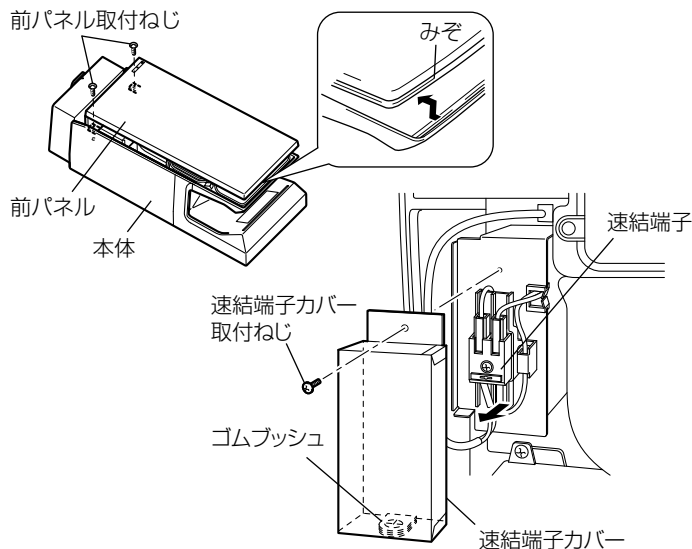


据付方法 つづき

3

1.前パネルを取りはずす。

- (1) 前パネル取付ねじ (2本) をはずす。
- (2) 前パネルのみぞを本体からはずし、前パネルを取りはずす。



2.速結端子カバーを取りはずす。

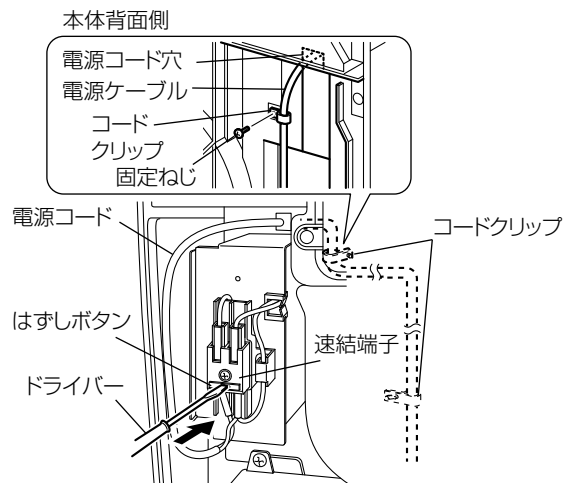
- 速結端子カバー取付ねじ (1本) をはずし速結端子カバーを手前に引き出す。
※ゴムブッシュはなくさないでください。

4

JT-FB116JH2-Wのみ

速結端子に接続されている電源コードをはずす。

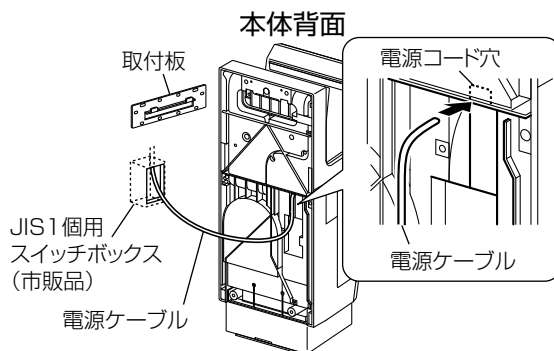
- (1) 速結端子のはずしボタンをマイナスドライバーで押しながら電源コードを引張ってはずす。
※確実にはずしボタンを押してください。無理に引張ると速結端子が壊れるおそれがあります。
- (2) 本体背面のクリップをはずし、電源コードを引き抜く。(上下2か所)



5

専用配線の電源ケーブルを本体内に引き込む。

- 本体背面の電源コード穴に、専用配線の電源ケーブルを通す。

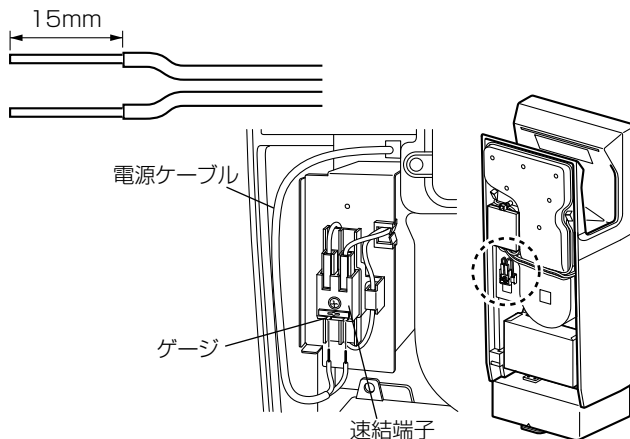


6

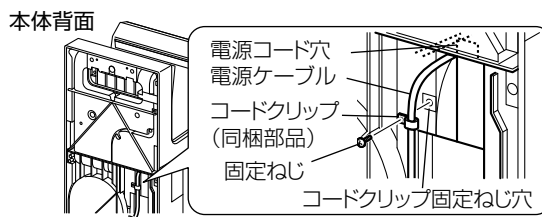
速結端子に結線する。(極性なし)

- (1) 速結端子にあるゲージに合わせて、電源被ふくを 15mm 皮むきする。
- (2) 電源ケーブルを速結端子に確実に差し込む。
- (3) 速結端子への結線が確実に差し込まれているか確認する。電源ケーブルは必ず単線のものを使用してください。より線をハンダ付けして速結端子に差し込まないでください。(火災・感電・故障の原因になります)

お願い ●本製品にはアース接続をしないでください。(誤動作や故障の原因になります)

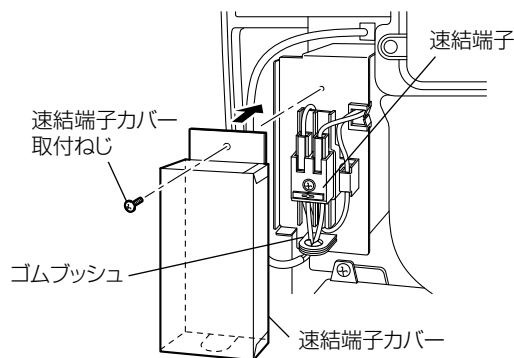


- (4) クリップ固定ねじ穴を使用して、付属のコードクリップ、固定ねじで電源ケーブルを固定する。



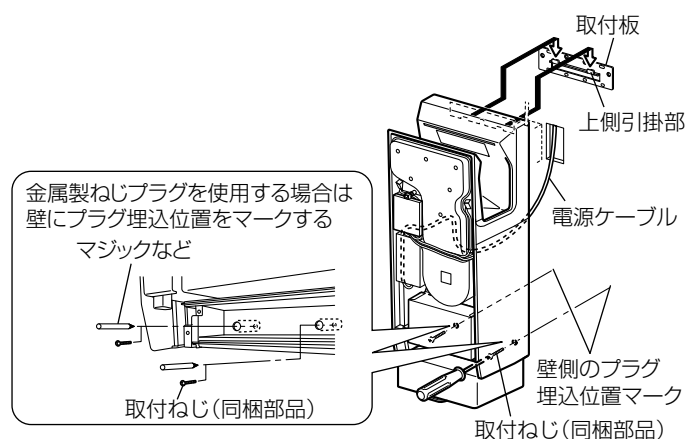
速結端子カバーを取付ける。

- (1) 電源ケーブルをゴムブッシュに通して、速結端子カバー取付ねじで元通り本体に取付ける。
- (2) 電源ケーブルおよび電線をはさみ込んでいないことを確認する。
 - 速結端子カバーの表面（手前側）に電線があると、前パネルが取付けられません。速結端子カバーの左側へ電線を移動してください。



本体を壁に固定する。

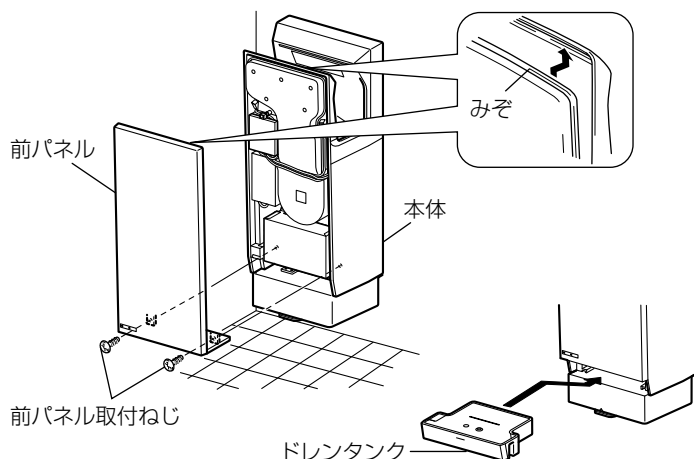
- (1) 本体背面で電源コードをはさみ込まないように、スイッチボックス内で電源コードの長さを調節し、取付板の引掛部（2 か所）に本体背面を引掛ける。
- (2) 本体を壁側に軽く押しつけながら、付属の取付ねじ（2 本）で固定する。
 - コンクリート壁に据付ける場合は、下記の手順で市販の金属製ねじプラグ（カールプラグ等）を使用して据付けてください。
 - ① 取付板に本体を仮置きする
 - ② 取付ねじの穴からペンなどで壁に穴位置をマーキングする
 - ③ 本体を取りはずし、マーキングした位置に市販の金属製ねじプラグ（カールプラグ等）を埋め込む
 - 付属の取付ねじを締め付ける際、プラスドライバーの軸長（ビット）は150mm以上のものを使用してください。
 - コンクリート壁以外の壁は補強を行った上で据付けてください。



お願い ●市販のφ4ねじを使用する場合は、ワッシャー（外径φ10以下）でガタつきを防止してください。

1.前パネルを取付ける。

- (1) 前パネルのみぞを本体にはめ込む。
- (2) はずした前パネル取付ねじ（2本）で元通り本体に取付ける。
- (3) 前パネルが確実にはまっていることを確認する。



2.ドレンタンクを取付ける。

別売品

自動ドア連動回路ボックス(JP-100RD2)、 信号線の接続のしかた

詳しくは、JP-100RD2の据付工事説明書をお読みください

■信号線の接続のしかた

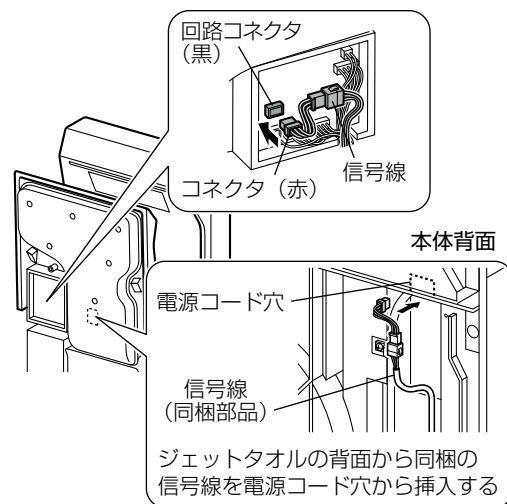
- ①挿入した信号線のコネクタ(赤)を
回路左下のコネクタ(黒)に確実に接続する。
- ②信号線を固定する。
●信号線の固定には同梱のコードクリップ用固定ねじを使用します。

●暮らしと設備の業務支援サイト WIN2K

<https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink/ssl/top.do>

上記に、JP-100RD2の据付工事説明書が掲載されております。

形名(JP-100RD2)で検索してください。



据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。

不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません)

項目	確認内容	チェック
1 配線工事	電気設備技術基準・内線規程に従っていますか？(火災の原因になります)	
2 本体の固定	十分強度のあるところに確実に固定されていますか？(けがや故障の原因になります)	
3 電源電圧を確認する	正しい電源を使用していますか？ (間違った電源を使用すると、火災・感電の原因になります) (JT-FB116JH2-W；交流100V) (JT-FB216JSH2-W；単相200V)	
4 アース接続禁止	アースを接続していないかを確認してください。(誤動作・故障の原因になります)	
5 ドレンタンク・エアフィルター	確実に取付けられていますか？(故障の原因になります)	

試運転

お客様立会いで試運転を行ってください。

手順	確認内容	チェック
1 電源電圧を確認する	正しい電源を使用していますか？ (JT-FB116JH2-W；交流100V) (JT-FB216JSH2-W；単相200V) 間違えると故障の原因となります ●アース線を接続していないことを確認してください。	
2 電源プラグをコンセントに差し込む または漏電遮断器を「入」にする	電源プラグは確実に差し込まれていますか？ (JT-FB116JH2-W)	
3 初期設定を行うため、30秒以上経って からお掃除スイッチを「OFF」にする	手挿入部のブルーライトは点灯していますか？ (30秒経過前にご使用の際は、一度電源供給を切断し、90秒経過した後、 再通电ください)	
4 手を入れて乾かす	風が吹き出していますか？ 本体の据付けが確実で、振動・異常音はありませんか？	

※手を入れた状態でお掃除スイッチを「OFF」にしないでください。

※表示部のヒーターランプが点灯または点滅状態のときは、一度電源供給を切断し、表示ランプが全て消灯したのを確認してから90秒経過した後、再通电してください。

お客様への説明

- 別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- この据付工事説明書は、引っ越しなどで製品を移動する際に必要となりますので、据付け後お客様にお渡しください。
なお同梱の取扱説明書および保証書も必ずお客様にお渡しください。
- 物件などで使用者が不在の場合は、発注者(オーナー、ゼネコン)や管理人などに説明してください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。